

## 第2四半期経営協議会開催

### 減収・減益で営業収益を150億円下方修正

本部は本日、経営協議会を開催し、平成21年度第2四半期連結決算の概要について会社から説明を受け、協議を行いました。

会社は、「依然として厳しい経営環境が続き、単体での運輸収入の減収、連結でも減収となった」として、第1四半期で平成21年度通期の営業収益予想を120億円下方修正しましたが、さらに150億円引き下げ、1兆4,770億円（前年比5.9%減）とすることを明らかにしました。しかし当期純利益は、第1四半期での予想した720億円（前年比42.9%）を据え置くとししました。そのために、「引き続き業務全般にわたり効率化・低コスト化等を徹底する」とし、100億円は関連会社で50億円はJR東海本体で経費節減を徹底していくとしています。

会社の説明に対し、鈴木委員長から150億円の下方修正に対する効率化について、長期債務の見通し、インフルエンザ対策など5

項目について質問し議論してきました。特に、効率化において関連会社での経費削減における「低コスト化」によって、安全への影響、サービスの低下につながることはないよう強く求めました。

**効率化と低コスト化の徹底による  
安全、サービスの低下は認めない！**

**JR東海  
減収減益**  
JR東海（名古屋  
市）が二十八日発表し  
た二〇〇九年九月中旬  
連結決算は、景気低迷  
や新型インフルエンザ  
の流行などが響き、売  
上高が前年同期比5・  
5%減の七千三百六億  
円、純利益が32・1%  
減の六百九十六億円  
で、三年ぶりの減収減  
益となった。

営業利益は26・9%  
減の千七百六十四億  
円、経常利益は31・6  
%減の千八百一十一億  
円だった。運輸収入は10  
・7%減の五千三百三  
十八億円で、新幹線が  
11・2%減の四千八百  
三十一億円、在来線が  
6%減の五百七億円で

10月29日

中日新聞